

視覚 障害



その研究と情報

1979年 冬 No.40

I S S N 0385—7476

Sonett®

ソニーからの新しいファミリーブランド「ソネット」

朗報。ソニーから炎のない調理器具。
炎がない。プレート表面も熱くない。目の不自由な方に最適です。



料理革命。もう火はいらない。

SOLID FLAME

UF-1200 ¥128,000

- ソニーの技術が結集した調理器具
ソネット・ソリッドフレイム。磁力線
の働きで鍋だけを発熱させます。
- 炎がないから、安全性が高い。
- トップ・プレートが熱くならない
ので、手を触れたりしても安心です。
- 操作はごく簡単。ダイヤルひとつ
でお好みの温度がえられるので、目
の不自由な方の天ぷら料理などに
も最適ですね。
- コンセントのある所なら、どこへで
も持ち運びができますから、
二階でも居間でも使用できます。
- ソリッドフレイムは安全性を最重
視して設計されており、数々の保護
装置がついています。パターンの上
に鍋がのっていない時、使用できな
い鍋がのっている時、ビヨビヨとい
うアラーム音と共にランプが点滅。
鍋過熱防止装置の働きで一定の温度
以上にならない。スプーン、ナイフ等
の小物、鉄などでできているアクセ
サリーをのせても小物発熱防止装
置が作動。方が、二プレートが割れて
もトップ・プレート切れ検知装置が、
もトップ・プレート切れ検知装置が、
- 点字カタログを用意しております。
葉書で下記へお申し込みください。

●お問合せはソニーインフォメーションセンターへTEL 東京(03)448-3311 大阪(06)251-5111

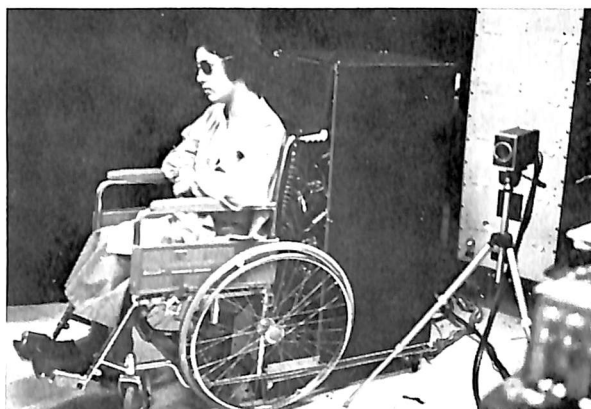
●カタログ請求はソニー商事ソネット営業部係へ〒141 東京都品川区北品川16-7-23 TEL(03)448-3111

視 覚 補 助 器 の 開 発

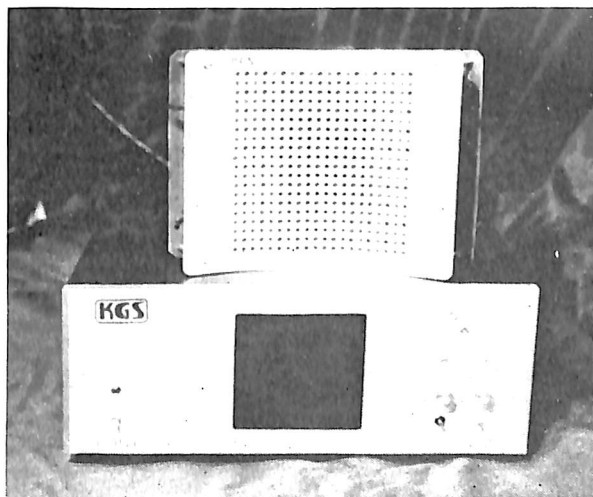
盲人のための教育・作業・歩行を補助する器具の開発研究は、年々進歩しております。

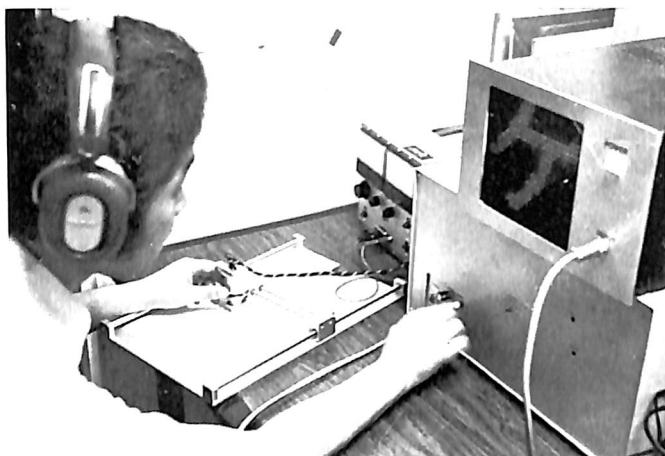
いまだ実用化されるにいたっていないものが多いですが、近い将来には実用化されるということを願って、視覚補助器開発の現状を紹介いたします。

- No. 1 5年前に、工業技術院製品科学研究所で開発された視覚代行器。視覚パターンを触覚素子からなるパターンに変換し、皮膚を刺激するもの。

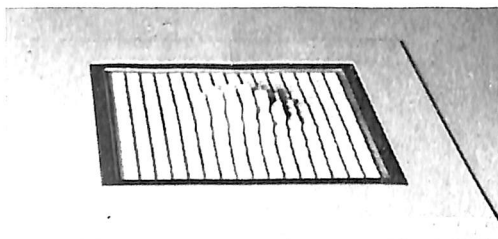
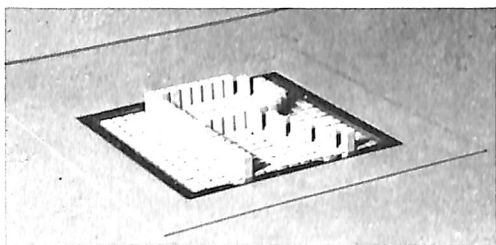


- No. 2 小型化された視覚代行器。盲人は触覚でもかなりのパターンを弁別することができる。（製品科学研究所）

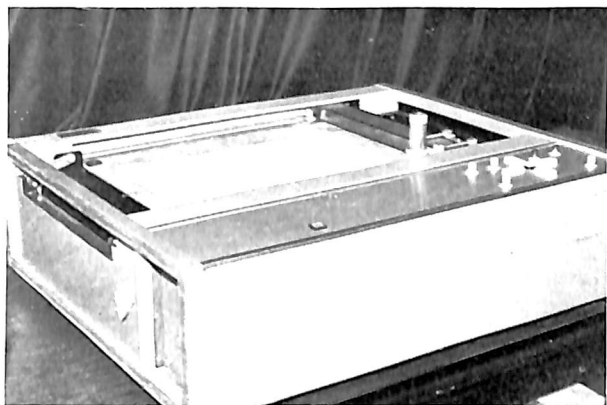




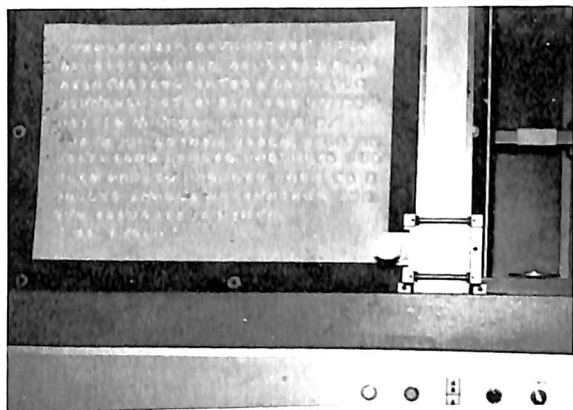
No. 3 文字読取器。オフタコンの原理の他に、文字を音に変換する機構もついている。（製品科学研究所）



No. 4、5 三次元情報発生器と呼ばれている。盲人は手を使って、文字や立体像を把握する。手を動かしてパターンをさぐるといふ点が従来のものと異なる。（製品科学研究所）

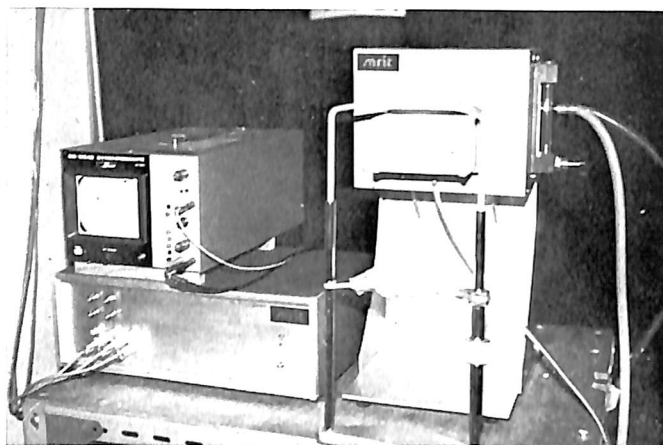


No. 6、7 ドットパターンプリンター。
ひらがな、漢字、
あるいはグラフな
どのパターンを点
字状に打ち出すも
の。（製品科学研
究所）

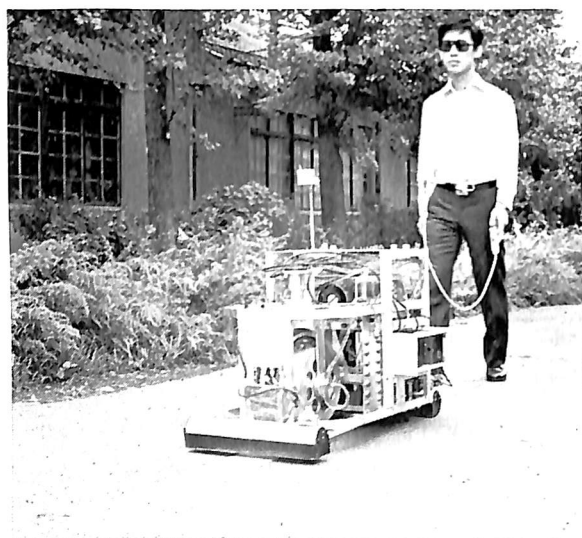


No. 8 点字紙を約30
秒で読み取り、カナ
文に翻訳する装置。
読み取った内容をフ
ロッピーディスクに
ファイルする機能も
ある。工業技術院か
らの委託による「点
字複製システムの研
究開発」における技
術を使用。





No. 9 ウォータージェット装置。ノズルを任意に動かして前面にあるゴム膜に水を吹きつける。一筆書き的に文字を提示するのに有利。（製品科学研究所）



No.10 盲導犬ロボット試作2号機。歩行補助のために工業技術院機械技術研究所が開発したもの。

以上は第3回、第4回感覚代行シンポジウムから選びだしました。

工業技術院製品科学研究所 和 気 典 二
 撮影協力 製品科学研究所 武 市 啓 司 郎

目 次

1979年 冬 No.40

2 ページ評論	松井新二郎	2
座談会「勉強に、サークル活動に一盲大学生に聞く」		5
出席者	東京大学学生 石川 准 東京芸術大学学生 武久源造 麗沢大学学生 望月 優	
司 会	日本盲人福祉研究会出版委員長 田中徹二	
ヨーロッパと私	和波 孝禧	16
あの人この人 古曲の保存にとりくむ中塩幸祐さん		25
インフォメーションコーナー		29
先人の叡智（その2）		37
施設をたずねて		
開設10周年を迎えた東京都心身障害者福祉センター		42
点字スペシャリストの養成	阿佐 博	45
内外文献		50
編集後記		55

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編 集 後 記

前号は弱視教育の特集を試みた関係で、多くの連続掲載のものを休ませていただきましたが、本号より再び継続させていただきました。特に、本号は、新春号であり、受験の時期になりますので、盲人の大学問題をとりあげ、久しぶりに座談会を編集してみました。

今後、この視覚障害は、奇数月、年6回の発行となりましたので、より幅広い内容を掘りさげたものを編集してまいりたいと考えております。

なにとぞ、ひとりでも多くのかたにご購読をおねがいするとともに、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

本年4月からは、購読料が年間2,500円となりますが、視覚障害に関する専門的な知識を得るには、本誌がかっこうなものであると自負しておりますので、ぜひ、まわりの関係者のかたがたにお勧めくださるようお願いいたします。 (松井新二郎)

視 覚 障 害 1979年 冬 No.40

年間購読料 1,500円 (送料とも)

発行日 1979年1月1日

発行者 本間 一夫

編集者 松井新二郎

発行所 日本盲人福祉研究会

〒532 大阪市淀川区塚本3丁目12番
6-301

電 話 (06) 309-2100

振替口座 大阪 40270

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平2-9-13
電 話 (624) 6111 番 (代表)

協賛団体 日本点字図書館